

インフォメーション・コーナー

会 告

○研究部会長の交代について	66
○平成 22 年度会員名簿の掲載事項について	66
○平成 23 年度農業農村工学会賞候補の推薦について (再)	67
○論文集の J-STAGE への登載と論文集投稿時の振込金の変更について (再)	68
○平成 22 年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について (再)	68
○学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集!!	69
○「農業農村工学会学術基金」への募金について	69
○農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてのお願い	69
○身近にある水利遺構で表紙を飾ろう!! 「水土の知 (農業農村工学会誌)」平成 23 年夏季の表紙写真の募集	70
○「水土の知 (農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております!	71
○国際学会「国際水田・水環境工学会」への入会のお願いと国際ジャーナル 「Paddy and Water Environment」について	72
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2009 年 1 月から 2011 年 12 月までの編集事務局 (投稿先) のお知らせ	72
○第 13 回 (2011 年) 「日本水大賞」の募集について	73
○第 59 回北海道支部研究発表会の開催について (第 1 報) ㊦	74
○平成 22 年度東北支部総会・東北支部 60 周年記念講演・第 53 回東北支部研究発表会ならびに 第 44 回東北支部研修会・第 34 回地方講習会の開催について (第 3 報) ㊦	74
○第 61 回関東支部大会講演会の開催について (第 2 報) ㊦	76
○中国四国支部第 65 回講演会ならびに第 34 回地方講習会の開催について (第 2 報) ㊦	77
○平成 22 年度九州支部第 91 回講演会・ポスターセッション・第 33 回講習会・シンポジウム・ 現地見学会の開催について (第 2 報) ㊦	78
○第 31 回農地保全研究部会研究集会の開催について (第 2 報) ㊦	80
○平成 22 年度農村道路研究部会研究集会・現地研修会の開催について (第 1 報) ㊦	81
農業農村工学会論文集第 268 号内容紹介	82
学会記事	84

第 78 巻第 9 号予定

展望：災害対策と持続的な農村の形成：有田博之

小特集：広域的な防災・減災技術とリスク管理による災害に強い農村づくり

- ①熊本市河内町における農地内石垣の被災とリスク管理：岡島賢治ほか
- ②深層浸透解析による傾斜地水田の防災管理指標のマップ化：川本 治ほか
- ③気候変動下の災害軽減に向けた水田の洪水防止機能の利活用：増本隆夫
- ④豪雨リスクを考慮したため池の減災対策：堀 俊和ほか
- ⑤河口低平農地における高潮災害のリスク管理にむけた課題：桐 博英ほか

技術リポート

北海道支部：天塩川地区における魚道整備優先順位の評価手法：佐々木祐二ほか

東北支部：鋼製起伏堰 (SR 堰) による取水堰の修繕事例：鎌田知幸ほか

関東支部：開水路の更新工法とその効果について：野田竜也

京都支部：縦断方向の地盤条件変化を踏まえた水路トンネルの耐震性の検討：古殿晴悟ほか

中四国支部：開水路の表面被覆工法の長期耐久性能に関する調査検討：本條忠應

九州支部：県産間伐材を利用したクリーク法面对策～山と平野の連携～：服部二期ほか

小講座：現状における性能設計：野中資博

私のビジョン：農地内石垣へのいざない：岡島賢治

農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。奮って参加下さるよう、お待ちしております。

ⓑのマークは、技術者継続教育認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成22年8月 26,27日	畑地整備研究部会	第48回畑地かんがい研究集会	ⓑ くだもの王国を支える栽培・灌漑技術	岡山市, 倉敷市	78巻5,7号
平成22年8月 31日～9月3日	大会運営委員会	平成22年度農業農村工学会大会講演会	ⓑ	神戸市	77巻12号 78巻1,3,4,6号
平成22年9月 9,10日	農村計画研究部会	第32回現地研修集会	ⓑ 水で結ぶ新たな絆を次世代に	高松市	78巻5,7号
平成22年10月 7,8日	農地保全研究部会	第31回研究集会	ⓑ 持続的農業のための農地保全	前橋市	78巻7,8号
平成22年10月 14,15日	京都支部	平成22年度講習会・シンポジウム	ⓑ	名古屋市	78巻7号
平成22年10月 15日	北海道支部	第59回支部研究発表会	ⓑ	札幌市	78巻8号
平成22年10月 19,20日	九州支部	第91回講演会・ポスターセッション・第33回講習会・シンポジウム・現地見学会	ⓑ	熊本市	78巻6,8号
平成22年10月 20日	関東支部	第61回大会講演会	ⓑ	甲府市	78巻6,8号
平成22年10月 27,28日	中国四国支部	第65回講演会・第34回地方講習会		山口市	78巻6,8号
平成22年11月 4,5日	農村道路研究部会	平成22年度研究集会・現地研修会	ⓑ 農村道路の機能保全	奈良市	78巻8号
平成22年11月 17～19日のうち 一日	資源循環研究部会	平成22年度研究発表会	ⓑ 農村における水やバイオマス等資源の利活用及び循環に係る調査・研究の最新成果	東京都	78巻7号
平成22年11月 18,19日	東北支部	平成22年度総会・支部60周年記念講演・第53回研究発表会・第44回研修会・第34回地方講習会	ⓑ	盛岡市	78巻6,7,8号
平成22年11月 18,19日	京都支部	第67回研究発表会	ⓑ	津市	78巻7号
平成22年11月 25,26日	水文・水環境研究部会	第23回シンポジウム	ⓑ 農林地および広域の水文・水環境	宇都宮市	78巻7号

研究部会長の交代について

平成22年6月29日付で下記の研究部会長が交代しました。

記

研究部会名 資源循環研究部会

新部会長 凌 祥之 (九州大学大学院)

前部会長 高橋 強

平成22年度会員名簿の掲載事項について

平成22年度版の当学会会員名簿の発行に係る掲載事項については、個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、従来どおり当学会の「会員名簿の発行に伴う個人情報の扱い」により対処しますので、掲載事項としている下記の事項について、掲載に同意されないものがあれば、会員番号と氏名を明記のうえ、郵送、E-mail またはFAXで、10月1日(金)までにご連絡下さい。(非掲載項目につきましては、前年度までにご連絡を頂いていて、変更のない場合は再度ご連絡を頂かなくても結構です)

なお、ご連絡がない場合は、下記事項の掲載に同意されたこととさせていただきます。

記

会員名簿掲載事項

- ①【氏名】 ②【会員番号】 ③【出身校】 ④【卒年】
⑤【資格】 ⑥【勤務先及び役職】 ⑦【自宅住所】
⑧【自宅電話番号】

連絡先

郵送の場合：〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4
農業農村工学会 馬目あて

E-mailの場合：manome@jsidre.or.jp

FAXの場合：03-3435-8494

(参考)

会員名簿発行に伴う個人情報の扱い

以下の項目を遵守することによって、個人情報取扱義務を全うする。

1. 利用目的の特定, 利用目的による制限

農業農村工学会会員名簿の作成業務及び会員管理にのみ
利用し、この範囲を超えて利用しない。

安全管理のために、学会職員、印刷業者等に対して必要
かつ適正な監督を行う。

2. データ内容の正確性の確保

個人情報等の正確性、最新性を確保する。

4. 第三者提供の制限

名簿は、(社)農業農村工学会定款第6条に定める会員及
び同会員が所属する機関に限り原価にて頒布する。

3. 安全管理措置、従業者、委託先の監督

平成 23 年度農業農村工学会賞候補の推薦について (再)

平成 23 年度の農業農村工学会賞 (上野賞, 沢田賞を除く)
を、募集要項に則って、推薦書によりご推薦下さい。

締切りは、平成 22 年 10 月末日です。推薦書様式および、
授賞規程は学会 HP をご参照下さい。

平成 23 年度 農業農村工学会賞 募集要項

賞の種類	学術賞	奨励賞		優秀賞		
		研究奨励賞	技術奨励賞	優秀論文賞	優秀技術賞	優秀技術リポート賞
賞の趣旨	農業農村工学に関する学術または技術の進歩に貢献した創意ある優秀な業績	農業農村工学に関する学術または技術の進歩に寄与すると認められる優秀な業績	農業農村工学に関する計画、設計、施工、管理等の技術業績	農業農村工学に関する単独の研究業績	農業農村工学に関する計画、設計、施工、管理等の単独の技術業績	農業農村工学に関する単独の技術リポート業績
賞の対象範囲および期間	平成 17 年 10 月から平成 22 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文、報文等を原則とする。ただし、同一の課題につきそれ以前に発表されたものは、一連の業績として対象とすることができる。	平成 19 年 10 月から平成 22 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文、報文等を原則とする。ただし、同一の課題につきそれ以前に発表されたものは、一連の業績として対象とすることができる。	平成 19 年 10 月から平成 22 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文、報文等を原則とする。ただし、同一の課題につきそれ以前に発表されたものは、一連の業績として対象とすることができる。	平成 21 年 10 月から平成 22 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文、報文等を原則とする。	平成 20 年 10 月から平成 22 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文、報文等を原則とする。主として現場調査資料、現場技術報告書から選ぶ。	平成 17 年 10 月から平成 22 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された技術リポート
受賞候補者	会員			会員または会員の属する組織・団体		会員
推薦の方法	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績 (コピー可) を 1 部提出する (いずれも返却しない)。			正会員の自薦、他薦または学会誌・論文集の編集委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績 (コピー可) を 1 部提出する (いずれも返却しない)。		

賞の種類	著作賞	教育賞	環境賞	歴史・文化賞	地域貢献賞	国際貢献賞	メディア賞	功労賞
賞の趣旨	一般に市販されている図書の中で、農業農村工学に関する学術または技術を広く世に紹介することに顕著な貢献をなしたと認められる業績	農業農村工学教育、技術者の継続教育など資質の向上に寄与したと認められる活動で優れた業績	農業・農村の生産・生活環境の改善や生態系保全など、美しい環境の保全や創出において優れた計画および施工の事例並びに管理・保全活動	農業農村工学に関する歴史・文化を広く紹介、あるいは研究分析の業績	農村地域社会の発展・活性化に貢献した業績	農業農村工学に関する学術・技術についての、国際的な交流・調査研究で優れた業績	農業農村工学を紹介した優れたパンフレット、ビデオ作品、教材スライド、映画等	長年にわたる、地道な教育・研究または実務の積重ねを通じて、農業農村工学の学術または技術の進歩発展に多大な功労のあったと認められる者
賞の対象範囲および期間	平成 12 年 10 月から平成 22 年 9 月までに出版されている一般の図書。ただし、ハンドブック・便覧の類の著書および翻訳書は対象としない。また、改訂版にあたっては全面改訂したもののみを対象とする。	平成 12 年 10 月から平成 22 年 9 月までの業績を対象とする	平成 20 年 10 月から平成 22 年 9 月までに本学会の刊行物または、関係する図書に発表されたもの。また、完工した建設物、維持保全管理活動等も対象とする。	平成 17 年 10 月から平成 22 年 9 月までの業績を対象とする	平成 17 年 10 月から平成 22 年 9 月までの活動を対象とする	平成 17 年 10 月から平成 22 年 9 月までの活動を対象とする	平成 20 年 10 月から平成 22 年 9 月までに発表された、農業農村工学に関連した作品を対象とする。	平成 22 年度末に 65 歳以上に達している個人
受賞候補者	著者 会員の資格の有無を問わない	会員または会員の属する組織・団体	会員の資格の有無を問わない 個人または組織・団体	会員の資格の有無を問わない 個人または組織・団体	会員または会員の属する組織・団体	会員	会員の資格の有無を問わない 個人または組織・団体	会員 (名誉会員を除く)
推薦の方法	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績 (コピー可) を 1 部提出する (いずれも返却しない)。	正会員の自薦、他薦または技術者継続教育機構運営委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績 (コピー可) を 1 部提出する (いずれも返却しない)。	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績 (コピー可) も返却しない。	正会員の自薦、他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績 (コピー可) を 1 部提出する (いずれも返却しない)。	正会員の自薦、他薦または国際委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績 (コピー可) を 1 部提出する (いずれも返却しない)。	正会員の自薦、他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績 (コピー可) を 1 部提出する (いずれも返却しない)。	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績 (コピー可) を 1 部提出する (いずれも返却しない)。	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。

選考の方法	学会賞選考委員会において行う
賞の決定	理事会において行う
表彰	農業農村工学会大会講演会において会長が授与する
推薦締切	平成 22 年 10 月末日
提出先	〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4 社団法人 農業農村工学会 学会賞選考委員会宛

論文集の J-STAGE への登載と論文集投稿時の振込金の変更について (再)

論文集編集委員会

論文集の J-STAGE への登載について、論文集購読者へのアンケートおよびホームページにおけるパブリックコメント聴取を経て、発行1年後に論文集掲載論文を J-STAGE へ登載すること、また、登載料として著者に4,000円を負担していただくことを第210回理事会(平成21年5月19日開催)において決定し、論文集259号(平成21年2月号)より J-STAGE へ登載すべく準備を進めております。

現在、投稿料16,000円を投稿時にお振り込みいただいておりますが、J-STAGE への登載料4,000円(J-STAGE には5,000円を納入しますが、1,000円は従来の投稿料から捻出することとし、4,000円を新たに負担いただきます。)について

もあらかじめ徴収することとし、平成22年4月1日受付分より合計20,000円をお振り込みいただくことといたしました。

その理由としては、論文集の発行と同時に J-STAGE へ登載するために JST に支払う必要があるからです。

ただし、審査の結果、投稿論文等が掲載不適となった場合は、登載料4,000円は返金いたします。

なお、論文集259号以降に掲載された論文等についての登載料は遡って著者に請求させていただきますので、ご了承くださいたくよろしくお願い申し上げます。

論文集259号の J-STAGE への登載時期は、今年の夏以降を予定しております。

平成22年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について (再)

研究委員会戦略的研究推進小委員会

農業農村工学分野における戦略的研究の推進を目的とし、下記取扱い内規によって、競争的研究資金獲得をめざす研究申請書作成グループに助成を行います。助成総額は、60万円程度(平成22年度、原則1件20万円以内)です。

本年度の申請締切は平成22年9月17日(金)です。助成金を希望される方は期限までに、必要事項を記入した申請様式(末尾参照)で研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長宛にお申し込み下さい。

試験研究機関、行政、大学、民間等からの応募を歓迎します。

「戦略的研究申請支援」の助成金取扱い内規

1. 申請：学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上、「研究申請支援」の助成金の申請ができる。なお、申請者の資格は、後述の「4.助成対象」に示す。
2. 認定：研究委員会戦略的研究推進小委員会は、「研究申請書作成グループ」の申請内容(申請の意義、準備の状況、将来の展望など)を検討して、助成金の配布グループと金額を決定する。可否の認定に当たっては、科学研究費補助金以外の競争的資金に応募を予定しているグループを優先する。なお、この決定内容は学会長に報告する。
3. 配布：研究委員会戦略的研究推進小委員会は認定した「研究申請書作成グループ」に対し、「研究連絡費」として助成金を配布する。ただし、その配布は原則として1年とする。

4. 助成対象：申請できる条件は次のとおり。

(イ) 具体的な研究テーマをもち、それを研究することが戦略的な意味で農業農村工学の意義と役割を対外的に示すことに貢献しうること。

(ロ) 「研究申請書作成グループ」には代表者(本学会員)をおき、構成員(本学会員以外も可)は原則として3名以上、それらの所属する機関が二つ以上あること。

5. 活動報告：助成金を配布された「研究申請書作成グループ」は、助成金受領後1年以内に活動報告として、作成した申請書とその提出および審査の経過を、戦略的研究推進小委員会に提出すること。提出された活動報告は戦略的研究推進小委員会のデータベースに登録され、必要に応じて学会の研究申請支援活動に役立てられる。

「戦略的研究申請支援」の助成金申請様式

締切：平成22年9月17日(金)

申込先：戦略的研究推進小委員会委員長宛

E-mail：tkiku@jsidre.or.jp

必要記載事項：

- (1) WG名(または部会名)
- (2) 代表者名・所属
- (3) 参画者名・所属
- (4) 研究テーマ名(仮)
- (5) 研究の目的と内容(500字程度)
- (6) 研究資金申請応募先(予定)

学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集!!

行事企画委員会

技術者継続教育機構 CPD 運営委員会通信教育部会

学会誌を出典とした通信教育を平成 18 年 11 月より本格実施しております。学会誌購読による自己学習で最大年間 10 CPD ポイント、また、通信教育で最大年間 24 CPD ポイントが取得できますので、是非、通信教育にご参加下さい。

なお、学会誌 2 月号に掲載された通信教育問題から配点を改正(正解率 70% 以上の場合 1.0 CPD ポイントから 1.5 CPD ポイントへ、正解率 100% の場合 1.5 CPD ポイントから 2.0 CPD ポイントへ)いたしました。詳細については、第 53 回通信教育問題(学会誌 2 月号 65 ページ)をご参照下さい。

1. 参加会員の募集

参加をご希望の正・学生会員で、かつ CPD 会員の方は、農業農村工学会のホームページ (<http://www.jsidre.or.jp/cpd>) にある参加申込書に必要事項を記入してメール (E-mail: kaito@cpd.jsidre.or.jp) あるいは FAX(03-5777-2099)でお送り下さい。

なお、この機会に農業農村工学会、技術者継続教育機構への入会を希望される方は、同様にホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>, <http://www.jsidre.or.jp/cpd>) に申込様式がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。

2. 申込期限

参加は、いつからでも可能です。

3. 内 容

問題は 3 カ月前の学会誌の報文等から、CPD 運営委員会通信教育部会が作成し掲載します。

問題は択一式で、毎回 10 問出題します。報文の事実的内容から作成し、回答はメール (E-mail: kaito@cpd.jsidre.or.jp) で機構に送信していただきます。

採点の結果、7 割以上正解で 1.5 CPD ポイント、満点で 2.0 CPD ポイントが取得でき、CPD 会員の継続教育記録に自動的に登録されます。

解答は技術者倫理に則り、自らの責任において作成していただきます。

4. 参加費

学会会員のための行事の一環として実施するため、学会が必要経費を負担しますので、当分の間、通信教育参加費は無料です。

5. 通信教育受講者の特典

採点結果は自動入力されますので、毎年 4 月中に取得した点数を本人にお知らせし、5 月上旬から希望により有料で「CPD 取得証明書」を発行します。

「農業農村工学会学術基金」への募金について

農業農村工学会は、農業農村工学の学術・技術の発展を通じて、わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし、昨今の日本の農業はかつてない厳しい環境におかれ、農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり、東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには、若い世代の育成、新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は、これら諸活動に資するものとして、平成 3 年 4 月に学術基金を創設し、これに上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し、さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金による助成は、平成 21 年度までに 54 件の実績をあげています。

個人会員一口 5,000 円 (何口でも可)

法人会員一口 50,000 円 (何口でも可)

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名 (社) 農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてのお願い

災害対応特別委員会

農業農村工学会では、近年における地震、豪雨等による災害が各地で発生し、農地・農業用施設等に甚大な被害をもたらしている状況を鑑み、それら災害の原因究明、復旧対策工法の採

用等に対する支援を行う組織として、災害対応特別委員会を設置しています。

この災害対応特別委員会では、「①農地・農業用施設に甚大

な被害が発生した自然災害」, 「②学術的見地から緊急調査が必要と判断される自然災害」に対して, 災害発生後, 直ちに災害対応調査団を派遣し, 調査の実施, 復旧支援を行う体制を整備しています。

そこで, 災害対応調査団を組織しなければならない事態が生じた時に, 早急に対応できるよう, 調査団のメンバーに加わっていただける方は事前に登録をお願いします。審査の結果, 登録された会員は, 災害対応調査団候補者名簿(2年ごと更新)に記載して, 緊急災害時等の場合に現地調査を行って頂きます。

なお, 災害対応調査団の団員の資格および派遣の条件は, 以下のとおりです。

① 調査団の候補者は, 高度な専門知識を有する農業農村工学会員とする。

② 派遣する調査団員は, 候補者名簿の中から選定する。

③ 調査団の派遣期間は, 原則 2~3 日とする。

④ 調査団派遣に関わる旅費は, 農業農村工学会が後日精算する(年度予算限度額 300 万円)。

⑤ 調査団員に対して, 調査に必要と考えられる保険を掛ける。

⑥ 調査団は, 調査結果を速やかに報告する。

上記の趣旨をご理解のうえ, 学会事務局 FAX 03-3435-8494, E-mail saigai@jsidre.or.jp までお申し込み下さい。様式は農業農村工学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) よりダウンロードして下さい。多数のご参加をお待ちしております。

なお, 登録頂いた個人情報, 災害対応調査にのみ活用し, 適切に取り扱います。

身近にある水利遺構で表紙を飾ろう!!

「水土の知(農業農村工学会誌)」平成23年夏季の表紙写真の募集

学会誌編集委員会では, 平成23年も引き続いて皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。

趣 旨

わが国は急峻な地形であることや水田稲作が発達したことに起因して, 水を制する, 水を利用するための土本的施設が数多く造られてきました。それら用水路, 頭首工, 堰堤などの水利施設は, 今も過酷な自然の猛威にさらされながらも, 農業経営, 防災などの面で人々の生活を支えています。また, それぞれの機能を発揮するとともに, 年月を重ねることでその地域の自然や文化にとけ込み, その景観を構成する要素として不可欠なものもあります。それが大規模プロジェクトで建設されたものでなくとも, 私たちが調査・研究・事業の対象としている農村地域には, 規模に違いこそあれ立派に機能美と景観美を放つものが存在します。

農業・農村の現場で活躍される皆さま, 日頃何気なく見過ごしているかもしれない水利遺構とそれを含む景観の美しさを再評価いただき, 忙しい業務の合間にも, 足を止め, 手を休めて写真として記録いただき, 広く学会員にご紹介下さい。特に今回は, 「夏」が感じられる「水利遺構」の写真を集めます。

記

1. テーマ

「水利遺構：先人たちの技術と苦労が垣間見える造形美」
(昨年と同様)

2. 対象巻号

学会誌第79巻(平成23年1~12月号)のうち, 特に夏季のもの

3. 写真の種類

単写真, 組写真いずれもカラープリントで(デジタルカメラの場合はJPEG ファインモードまたはTIFF モードに設定)撮

影して下さい(サイズは六ツ切)。組写真の場合は, その旨明記して下さい。

4. 枚数

応募写真に制限はありませんが, 未発表のものに限ります。

5. 締切 平成22年9月30日(夏季の写真)

6. 審査 審査委員会(編集委員と写真家)で選考します。

7. 結果発表

学会誌第79巻第1号で採用作品と掲載号を発表し, 採用作品は平成23年度大会会場でパネル展示します。

8. 謝礼

採用作品には規定の賞金(1点につき3万円)をお支払いします。また, 応募者には記念品をお送りします。

9. 「Cover History(表紙写真由来)」について

採用作品の応募者には学会誌掲載の「Cover History(表紙写真由来)」をご執筆頂きます。ご執筆の詳細は, 採用決定時に応募者に直接お知らせします。なお, 些少ですが原稿料をお支払いします。

10. 使用权

採用作品の使用权は(社)農業農村工学会に属します。

11. 注意点

応募された被写体の季節が極端に偏ることから, 募集する季節ごとに締切を設けさせていただきました。

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか, 表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には, 水利構造物の形状や機能が, その写真から十分に読みとれること(花などの情緒物に埋没しないこと), また, デジタル画像の場合は表紙に拡大したときにドット崩れしない十分な解像度があること, が採用の条件となります。

12. 応募方法および応募先

学会ホームページより, 応募票をダウンロードし, タイトル,

郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、性別、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、撮影データ（フィルム、使用カメラ等）、対象物の固有名称（固有名称）、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付してお送り下さい。

なお、原則として、応募写真は返却しません。

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4
 (社) 農業農村工学会
 農業農村工学会誌編集委員会「表紙写真公募」係
 ☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494
 E-mail : suido@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

学会誌編集委員会

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要

項」,「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿下さい。

学会誌 78, 79 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A4判 1,500字以内)	原 稿 締 切 (刷上り 4ページ厳守)
78 巻 10 号 農業農村整備事業を契機とした農村環境の保全 (仮)	公募終了	
11 号 コスト削減に資する圃場整備 (仮)	公募終了	
12 号 小特集なし		
79 巻 1 号 次世代育成の現状と課題 (仮)	公募なし	
2 号 ため池における危機管理 (仮)	平成 22 年 9 月 21 日	平成 22 年 10 月 29 日
3 号 農村における生物多様性の保全 (仮)	公募なし	
4 号 地域に貢献する「水土」の改善 (仮)	平成 22 年 10 月 25 日	平成 22 年 12 月 10 日
5 号 土構造物および土中構造物数値解析の最前線 (仮)	平成 22 年 11 月 25 日	平成 23 年 1 月 10 日
6 号 大会関連	公募なし	

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌編集委員会あてにお寄せ下さい。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り 4 ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

79 巻 2 号テーマ「ため池における危機管理」(仮)

ため池は、降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池であり、新田開発や用水不足解消を目的に、古代から近代にわたる長い歴史の中で築造され、現代に至っても貴重な水源として農業の礎の役割を果たしています。

現在、全国には約 21 万のため池が存在しており、地域の文化にも深く関わり、周辺の農地や里山と一体となって多様な生物の生育・生息の場となっています。

また豊かな自然環境とのふれあい・やすらぎの場、さらには環境教育の場など、多様な役割も発揮できる場であり、地域振興の核となる可能性を秘めています。

ます。

送付先 〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4
 (社) 農業農村工学会 学会誌編集委員会あて
 ☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494
 E-mail : henshu@jsidre.or.jp

しかしながら、農業者の減少・高齢化に伴い、従来のようなため池の維持管理が難しくなっており、防災・減災面での脆弱化が課題となっていることから、特に災害発生のおそれがあるため池については、その危機管理が課題となってきています。危機管理として防災情報の管理システムの構築や、ハザードマップの作成、防災・減災のために必要な計画や体制の整備等に取り組む地域は全国的に広がりをみせていますが、今後ともさらに推進される必要があります。

以上のことから、本小特集では、防災・減災を目的とするため池の危機管理の取組みへの一助となるよう、ため池の危機管理への取組に対する報文を広く募集します。

国際学会「国際水田・水環境工学会」への入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering : PAWEES) は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊し、2010年9月末に Vol.8, No.3 が発刊されます。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方々が国際学会へ入会されることを希望します。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑 (水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水 (排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全 (土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全 (水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能 (洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全 (水生, 陸生動植物の生態系)
- ⑦ 地域計画 (農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ バイオ環境システム (水田農業と水環境, 土壌環境, 気

象環境)

- ⑨ 水田の多目的利用 (田畑転換, 施設園芸)
 - ⑩ 農業政策 (農村振興, 条件不利地の支援策など)
- 水田農業を通じた国際的な研究交流, 情報交換の場として, 皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと, 会員には国際ジャーナルが, 年4回無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag 社 (ドイツ)

発刊スケジュール: 2003年3月創刊, 以後3カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000 円/年/4 冊 (送料等学会負担)

学生会員 (院生含む) 8,500 円/年/4 冊 (送料等学会負担)

申込先: 農業農村工学会編集出版部 中村あて

ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp>

※入会のお申込は, 学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm>) の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ, メールまたは FAX でお申し込みいただけます。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2009年1月から2011年12月までの編集事務局 (投稿先) のお知らせ

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering) は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2010年9月末に Vol.8, No.3 が発刊されます。

わが国においても学術誌の評価に、SCI (Science Citation Index) の IF (Impact Factor) が利用されており、本国際ジャーナルでも IF の取得により高い評価の定着を目指してきました。

また、世界13カ国から Editor (14名) を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名な Springer-Verlag 社からの刊行です。

掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りませんが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

このような努力が実り、2009年12月、本ジャーナルがトムソン・ロイター社の SCIE に収録され、インパクトファクターを獲得したというビックニュースが飛び込んできました。詳細

については Editor-in-Chief による海外ニュースが本誌1月号88ページに掲載されていますのでご参照下さい。

2009年1月から2011年12月までの編集事務局 (投稿先) は、台湾になります。

投稿先: Yu-Pin Lin, Ph. D., Professor

Department of Bioenvironmental Systems Engineering National Taiwan University

No. 1, Sec. 4, Roosevelt Road, Taipei, 10617 Taiwan (R. O. C)

E-mail: yplin@ntu.edu.tw

TEL: +8862-2-3366-3467

FAX: +8862-2-2363-5854

(During Jan. 2009 to Dec. 2011)

編集方針: 水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水, 土壌保全, 土地資源や水資源の保全と管理, 水田の多面的機能, 農業政策, 地域計画, バイオ環境システム, 生態系の保全, 水田保全, 田畑輪換等である。

編集体制

• Editor-in-Chief: Dr. Yoshisuke Nakano (Japan)

Professor Emeritus, Kyushu University, Japan
 ・Editors 13 カ国から 14 名
 ・Editing Board 32 名
 ・Managing Editors
Chief Managing Editor : Prof. Dr. Yu-Pin LIN
 Department of Bioenvironmental Systems Engineering,
 National Taiwan University, Taipei, Taiwan, Rep.
 of China
Prof. Dr. Yoshiyuki SHINOBU
 Faculty of Agriculture, Kyushu University, Fukuoka,
 Japan.
Prof. Dr. Haruhiko HORINO

Graduate School of Life and Environmental Sciences,
 Osaka Prefecture University, Osaka, Japan
Dr. Kazunari FUKUMURA
 Department of Agricultural Environmental Engineer-
 ing, Utsunomiya University, Utsunomiya, Japan
Prof. Dr. Soon-Jin HWANG
 Department of Environmental Science, KonkukUniver-
 sity, Seoul, Korea
 出版社：Springer-Verlag 社（ドイツ）
 投稿資格：筆者全員が国際学会員であること。
 投稿要領等：http://www.jsidre.or.jp に詳細を記載していま
 す。

第 13 回(2011 年)「日本水大賞」の募集について

1. 目的

日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本と地球を目指し、水循環系の健全化に寄与することを目的としています。

本賞を実施するために、日本水大賞委員会を設け、企画・運営・審査を行います。

2. 対象範囲

(1) 対象となる活動分野

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、水防災、水資源、水環境、水文化、のような分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象とします。

(2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、学校、企業、団体、個人、行政の方々が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

3. 日本水大賞の内容

対象となる活動の中から、優れたものに対して以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動を更に継続していただくよう授与しています。

- ①大賞【グランプリ】（賞状・副賞 200 万円）
- ②大臣賞（賞状・副賞 50 万円）
**【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】
 【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】**
- ③市民活動賞【読売新聞社賞】（賞状・副賞 30 万円）
- ④国際貢献賞（賞状・副賞 30 万円）
- ⑤未来開拓賞（賞状・副賞 10 万円）
- ⑥審査部会特別賞（賞状・副賞 10 万円）
- ⑦タイムリー賞（公募なし）

4. 選定の方法等

日本水大賞委員会の下に、上記の賞を選考するために各々の審査部会を設置し、表彰対象となる活動を審査し、最終的には

日本水大賞委員会が決定します。

5. 募集期間

平成 22 年 7 月 7 日（水）～11 月 30 日（火）（郵送の場合は当日消印有効）

6. 応募方法

応募用紙(3 枚：ホームページからダウンロードして下さい)に必要事項をご記入の上、応募用紙および添付資料を事務局あてに送付または持参して下さい。応募用紙および添付資料が電子データの場合は、E-mail でも応募を受け付けます。

応募の詳細はホームページを参照して下さい。

7. 審査結果の公表

審査の結果は、平成 23 年 3 月下旬に（社）日本河川協会のホームページおよび新聞紙上にて公表する予定です。入賞者には個別にご連絡いたします。

8. 主催等

- (1) 主催 日本水大賞委員会
 名誉総裁 秋篠宮文仁殿下
 委員長 毛利 衛（日本科学未来館館長）
 副委員長 虫明功臣（法政大学大学院工学研究科客員教授）
- (2) 後援（予定）
 環境省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、（社）農業農村工学会ほか 33 団体
- (3) 協賛
 「川の日」実行委員会ほか 5 団体

9. 送付先・問合せ先

【日本水大賞委員会事務局】
 （社）日本河川協会
 〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-6-5 麹町 E.C.K ビル 3 階
 ☎03-3238-9771 FAX 03-3288-2426
 E-mail : taisyo@japanriver.or.jp

担当：高野，佐藤（平日 9：15～17：30）
ホームページ：http://www.japanriver.or.jp/taisyo/

＜「日本水大賞」は、(財)河川環境管理財団河川整備基金の
助成を受けて実施しています＞

第59回北海道支部研究発表会の開催について（第1報）

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期日 平成22年10月15日（金）
2. 会場 札幌市・北海道大学学術交流会館2階講堂
（札幌市北区北8条西5丁目・北大正門すぐ）
3. 研究発表申込み

発表を希望する方は投稿原稿に先立ち、発表表題・発表者名と発表形式の希望（口頭またはポスター）をE-mail, FAXまたは郵送にてお申し込み下さい。

発表申込みの締切は平成22年9月17日（金）です。

発表申込者には折り返し講演集原稿作成要領をお送りします。

講演集原稿の締切は平成22年10月1日（金）です。

4. 参加申込み

下記様式により、E-mail, FAXまたは郵送にてお申し込み下さい。

参加申し込み締切は平成22年10月8日（金）です。

所属機関 _____
同上所在地 _____
申込代表者 _____ TEL _____

氏名	所属	備考

5. 発表・参加申込先

〒060-8589 北海道大学大学院農学研究院内
農業農村工学会北海道支部事務局

担当：柏木淳一 E-mail：kashi@envagr.hokudai.ac.jp

☎011-706-3641 FAX 011-706-2494

6. 参加費用

2,000円（当日会場にて申し受けます。）

平成22年度東北支部総会・東北支部60周年記念講演・第53回東北支部研究発表会 ならびに第44回東北支部研修会・第34回地方講習会の開催について（第3報）

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期日 平成22年11月18日（木）、11月19日（金）

2. 会場 「アイーナ」(18日)
いわて県民情報交流センター
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1
☎019-606-1717 FAX 019-606-1716
「ホテルルイズ」(19日)
〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通7-15
☎019-625-2611 FAX 019-625-2673

3. プログラム

＜第1日目＞11月18日（木）

(1) 総会ならびに研究発表会

- 9：00～9：30 受付
9：30～10：15 支部総会
10：15～10：45 支部賞授賞式
10：45～11：00 休憩
11：00～12：30

支部60周年記念講演「東北支部のこれまで」

北里大学獣医学部教授 嶋 栄吉
支部60周年記念シンポジウム「東北支部のこれから」
パネリスト 北里大学獣医学部講師 高松利恵子
山形大学農学部准教授 渡邊一哉
宮城県古川農業試験場技師 遊佐隆洋
コーディネーター
弘前大学農学生命科学部准教授 藤崎浩幸

12：30～13：30 昼食・休憩

13：30～17：00 第53回支部研究発表会

(2) 情報交換会

18：00～19：30 会場：「ホテルルイズ」3F万葉の間

＜第2日目＞11月19日（金）

(3) 支部研修会・地方講習会

9：00～9：30 受付

9：30～9：40 開会挨拶

9：40～12：00 第44回支部研修会

講演者

①学習院女子大学国際文化交流学部教授 莊林幹太郎

②農事組合法人原体ファーム代表理事組合長 及川 烈

12：00～13：00 昼食・休憩

13：00～15：20 第34回地方講習会

①土地改良事業計画設計基準 計画「農業用水(水田)」

②農村環境の広域的な保全に向けた構想づくりガイドブック(仮称)

③機能診断の手引き(開水路), 機能診断の手引き(頭首工)

15：20～15：30 閉会

4. 参加申込みと参加費振込先

平成22年度の大会全般を岩手県が担当しますが、研究発表会のプログラム編集は岩手大学が担当します。

そのため、『A. 参加申込み・参加費納入先』と『B. 研究発

表申込み方法』が、それぞれ下記のように異なりますので注意して下さい。

A. 参加申込み・参加費納入先

(1) 参加費内訳

総会ならびに研究発表会
3,000円(学生会員2,000円)
支部研修会ならびに地方講習会
7,000円(非会員8,000円)
情報交換会 5,000円(学生会員3,000円)

(2) 申込みおよび問合せ先

岩手県農林水産部農村建設課 菅原, 小坂
〒020-8570 盛岡市内丸10-1
☎019-629-5682・5686 FAX 019-629-5694
E-mail: nntohoku22@yahoo.co.jp (参加申込み専用アドレス)

申込書式(下記東北支部開設のホームページよりダウンロードできます)により所属機関ごと一括して、FAX, E-mail または郵送にて申込み下さい。
<http://www.jsidre.or.jp/shibu/tohoku>

記入例

農業農村工学会東北支部総会・研修会参加申込書

所属機関名: _____
所在地: (〒 -) _____
連絡者名(ふりがな): _____
電話/FAX: _____
E-mail: _____

所属	氏名	CPD 会員 番号 (技術者 継続 教育 機構)	総会・研究発表会		研修会・講習会	合計 金額
			参加費 (学生会員)	情報 交換会 (学生会員)	参加費 (非会員)	
			3,000 (2,000)	5,000 (3,000)	7,000 (8,000)	
例. 岩手県	岩手太郎	L123456	3,000	5,000	7,000	15,000
例. 岩手大学	岩手花子		2,000	3,000	0	5,000
総合計金額						20,000

(3) 参加費の振込先

銀行名 岩手銀行 県庁支店(店番号 009)
口座番号 普通 2015655
加入者名 農業農村工学会東北支部大会事務局 会計
 實井 正樹
(ノウギョウノウソンコウガクカイトウホク
 シブタイカイジムキョク カイケイ サネ
 イ マサキ)
※手数料は振込者負担をお願いします。

(4) 参加費の納入と取消し等

参加費の納入は、申込みと同時に銀行振込で全額納入

して下さい。

なお、参加取消し等による参加費の返金には応じかねますので、ご注意下さい。

(5) 参加申込み期間

平成22年8月2日(月)～10月22日(金)

B. 研究発表申込み方法

(1) 研究発表申込み・問合せ先

研究発表要旨集原稿に投稿票を添えて、下記にお申し込み下さい。

〒020-8550 盛岡市上田3-18-8

岩手大学農学部共生環境課程 小林幹佳(こばやし もとよし)

TEL&FAX 019-621-6190

E-mail: mkoba@iwate-u.ac.jp

(2) 要 領

研究発表要旨集原稿・投稿票の書き方については下記の農業農村工学会ホームページを参照して下さい。

<http://www.jsidre.or.jp/newinfo/22shibu/>

(3) 発表時間・発表手段

発表時間は15分以内(発表12分, 質疑3分)

発表補助手段(パソコン使用可 PowerPoint 2003, CD-R, USBメモリ使用可)

(4) 研究発表申込み受付期間

平成22年8月10日(火)～8月31日(火)

【締切厳守】

5. 会場への案内

「アイーナ」いわて県民情報交流センター

(1) JR利用の場合

・JR盛岡駅西口から徒歩4分

(2) 航空機利用の場合

・いわて花巻空港より空港連絡バスで約53分
・空港連絡バス盛岡駅前バス停下車, 徒歩4分

「ホテルルイズ」

(1) JR利用の場合

・JR盛岡駅東口から徒歩3分

(2) 航空機利用の場合

・いわて花巻空港より空港連絡バスで約53分
・空港連絡バス盛岡駅前バス停下車, 徒歩3分

6. 宿泊について

宿泊についての斡旋はいたしませんので、ご了承下さい。

※東北支部大会の最新情報は下記ホームページでお知らせいたしますので、ご活用下さい。

<http://www.jsidre.or.jp/shibu/tohoku>

第61回関東支部大会講演会の開催について(第2報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 主催 (社) 農業農村工学会関東支部
後援 農林水産省関東農政局, 山梨県
2. 支部大会講演会および講習会

- (1) 日時 平成22年10月20日(水)
・受付 9:30~10:30
・講演会 11:00~14:30 (昼食 12:15~13:15)
・講習会 14:45~16:15
・大会 16:30~17:00
- (2) 会場 ベルクラシック甲府
・受付 3階フロア
・講演会 2, 3階会場
・大会 3階会場

【会場問合せ先】

ベルクラシック甲府 ☎055-254-1000
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-1-17

3. 情報交換会

- (1) 日時 平成22年10月20日(水) 17:30~19:30
(2) 会場 ベルクラシック甲府

4. 支部大会講演会および情報交換会の参加申込方法

(1) 申込み

「第61回農業農村工学会関東支部大会参加申込書」に必要事項をご記入し、所属機関ごとに取りまとめのうえ、E-mail または FAX、郵送にてお申し込み下さい。

・郵送にてお申込みの場合は、控えをとっておいて下さい。

・支部大会、講演会および講習会のみ参加の場合においても、お申込みをお願いします。

(2) 申込期限 平成22年8月31日(火)

(3) 参加費

- ・講演会 3,000円
・情報交換会 5,000円

(4) 会費の納入方法

参加申込と同時に下記【会費の振込先】に全額前納して下さい。

なお、申込後のキャンセル・変更については、8月31日(火)以前の申し出に限りまして、振込み手数料等の実費を差引き返金いたします。

*9月1日(火)以降のキャンセルにつきましては応じかねますので、ご了承のほどよろしく申し上げます。

【留意事項】

*振込み手数料は、各自にて御負担願います。

【会費の振替先】

《郵便局からの振込みの場合》

口座記号・番号: 00200-7-116534 (右詰)

加入者名: 関東支部大会参加費

(カントウシブタイカイサンカヒ)

《他行等からの振込みの場合》

店名(店番): ○二九(ゼロニキュウ)店(029)

預金種目: 当座

口座番号: 0116534

加入者名: 関東支部大会参加費

(カントウシブタイカイサンカヒ)

*振込み元が判明できるように、所属・氏名等は必ずご記入下さい。(昨年は、未記入の方がおり大変混乱しました。)

(5) 申込先および問合せ先(事務局)

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

山梨県農政部耕地課技術管理担当

(担当: 岩間, 古屋)

☎055-223-1627 (直通) FAX 055-223-1624

E-mail: kouchi@pref.yamanashi.lg.jp

(6) 申込様式

申込様式は、山梨県農政部耕地課ホームページ上にも掲載してありますので、ファイルをダウンロードしてご利用していただくことも可能です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kouchi/index.html>

第61回農業農村工学会関東支部大会参加申込書

ふりがな 所属		電話番号	
ふりがな 申込者氏名		FAX番号	
所属所在地	〒		
ふりがな 参加者氏名	支部大会 出席 ○ 欠席 ×	CPD番号 (技術者継続 教育機構)	情報交換会 出席 ○ 欠席 ×
振込者 所属・氏名			
〈例〉 やまなし たろう 山梨太郎	○	D 123456	○
			山梨県 山梨太郎

*支部大会(講演会・講習会含む)および情報交換会の欄は、出席の場合は○、欠席の場合は×を記入して下さい。

5. 講演発表者申込方法

(1) 申込み

農業農村工学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp/>) の新着情報「支部講演会の投稿票について」に従って必要事項を記載し、(5)あてにメール送信して下さい。

(2) 申込期限 平成22年7月30日(金)

(3) 原稿締切 平成22年8月31日(火)

(4) 原稿枚数 A4 2~4枚(ページ)

(5) 申込先および問合せ先

4.の(5)と同じ。

(6) 講演時間 講演 12分

質疑応答 2分

入退場 1分

計 15分/1講演

6. その他

(1) 会場への案内

〈甲府までの所要時間特急使用〉

新宿駅→(中央本線:約1時間40分)→甲府駅

松本駅→(中央本線:約1時間15分)→甲府駅

富士宮駅→(身延線:約1時間30分)→甲府駅

〈甲府駅北口から会場までの所要時間:徒歩約3分〉

(2) 会場までの交通手段のお願い

当施設は無料駐車場スペースが少ないので、できる限り公共交通機関をご利用願います。

中国四国支部第65回講演会ならびに第34回地方講習会の開催について(第2報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



平成22年度農業農村工学会中国四国支部講演会ならびに地方講習会を10月27日(水)、28日(木)の2日間にわたり開催いたします。

開催要領・参加申込みについては、下記のとおりです。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日程 平成22年10月27日(水)～10月28日(木)

(1) 講演会

1) 日時 平成22年10月27日(水)

2) 会場 山口県教育会館

〒753-0072 山口県山口市大手町2-18

☎083-922-5766

3) 講演会

受付開始 9:00

開会式 9:45～10:00 (1Fホール)

支部賞表彰式 10:00～10:20 ()

特別講演 10:30～11:30 ()

講師:中道 宏

テーマ:環境に配慮した日本の食料自給力の確保と持続可能な国土経営(仮)

一般講演 12:30～16:50

第一会場 1Fホール

第二会場 5F第1研修室

第三会場 5F第2研修室

〈昼食 11:30～12:30〉

閉会式 16:50～17:00

(2) 情報交換会

1) 日時 平成22年10月27日(水) 18:00～20:00

2) 会場 セントコア山口

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉3-2-7

☎:083-922-0811

(3) 地方講習会

1) 日時:平成22年10月28日(木) 9:00～12:00

2) 会場:山口県教育会館

〒753-0072 山口県山口市大手町2-18

☎:083-922-5766

3) 内容:①土地改良事業計画設計基準 計画「農業用水(水田)」

②機能診断の手引き(開水路,頭首工)

2. 講演申込み

(1) 投稿・講演要領

1) 講演原稿

講演原稿は、図、表、写真などを含め1課題3ページ以内とします。

投稿者は、農業農村工学会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)の支部講演会投稿要領に従って原稿を作成し、原稿をPDFにしたファイルと投稿票をメールにより下記支部事務局あてにお送り下さい。投稿票ファイルは学会のホームページからダウンロードして下さい。その際、メールの件名は「中国四国支部講演会投稿」として下さい。受領確認はメールで返信しますので、受領はがきは不要です。なお、発表時間や発表方法などについては、事務局から連絡をする場合がありますので、講演者(○印)の方は必ず連絡先メールアドレスをお書き下さい。

原稿はPDFを原則としますが、それが可能でない場合は市販のA4判上質紙(コピー用紙などをご利用下さい。感熱紙は不可)に印字したモノクロ原稿を、支部講演会投稿要領に従って投稿票とともに郵送して下さい。

2) 講演資格

発表者のうち、少なくとも1名が会員であることが必要です。

3) 講演方法

個人発表とし、講演補助として、液晶プロジェクターのみ準備します。

4) 講演時間

1課題につき12分程度です。

5) 講演要旨集

申込みのあったすべての原稿を講演要旨集に収録します。なお、印刷はモノクロとなります。

6) 参加申込み

講演者は講演申込みとは別途に参加申込み(下記3.)も行い、必ず参加費を納入して下さい。

7) 原稿の縮切

平成22年9月17日(金)必着(遅延は不可)

8) 講演申込みおよび問合せ先

農業農村工学会中国四国支部事務局 清水克之

〒680-8553 鳥取県鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部生物資源環境学科

TEL&FAX 0857-31-5395

E-mail : jsidre-chushi@muses.tottori-u.ac.jp

(2) 研鑽賞選考調査票について

当支部では、支部講演会において積極的に成果を発表した会員（大学・国立研究機関（独立行政法人近畿中国四国農業センターを含む）所属の会員を除く）を顕彰するために研鑽賞を設けております。この賞は、同一の口頭発表者が3年以上にわたって通算3回の発表を行った場合に授与されるもので、以前に受賞した人も受賞後の発表が通算3回に達すれば再度授与されます。

選考調査票は、この発表回数をカウントするための資料としますので、口頭発表者の今回を除く最新の講演（前受賞者は受賞対象以降のもの）2件の題目とその年度を下記の様式によりお知らせ下さい。

支部賞（研鑽賞）選考調査票

口頭発表者氏名： _____

所属： _____

学会加入年度（会員番号）： _____（ ）

No.	年度	講演題目
1		
2		

3. 申込方法

(1) 申込み書

所定の申込み様式により所属機関ごとにまとめ、下記(5)までお申し込み下さい。

(2) 申込締切日 平成 22 年 9 月 10 日（金）

(3) 参加費等

講演会参加費 3,000 円

※講演会を含め、講演会に参加される方は必ずお支払い下さい。

昼食代 1,000 円

情報交換会 6,000 円

地方講習会 4,000 円

(4) 参加費等の納入方法

参加申込みと同時に次の銀行口座に全額前納をお願いします。払込手数料については、振込人負担をお願いします。

【申込み様式】

第 65 回農業農村工学会中国四国支部講演会ならびに
第 34 回地方講習会参加申込書

所属機関名： _____

所在地：（〒 - ） _____

連絡者名（ふりがな）： _____

TEL _____ FAX： _____

E-mail： _____

ふりがな 所属	ふりがな 氏名	講演 希望	【27 日】		【28 日】		合 計 (円)
			講演会 参加費 (3,000 円)	昼食代 (1,000 円)	情報 交換会 (6,000 円)	地方講習会 (4,000 円) (非会員： 5,000 円)	
計	人	人	人	人	人	人	円

注 1) 出席または必要の場合は○印、欠席または不要の場合は×印をご記入下さい。

注 2) 講演者は、講演希望欄に必ず○印をご記入下さい。

注 3) 27 日の講演会の昼食は、当日「弁当引換所」にて配布します。（ただし、事前予約者のみ）

また、振込元がわかるように、所属・氏名等は必ずご記入下さい。

なお、振込後の参加費等の返金には原則応じられませんが、ご注意ください。

【振込口座】

銀行名：山口銀行 県庁内支店

店 番：044

口座番号：普通 5001235

名義人：支部講演会・講習会実行委員会 福田 公一

(シブコウエンカイ・コウシュウカイジッコウ

イインカイ フクダ コウイチ)

(5) 参加申込先および問合せ先

農業農村工学会中国四国支部事務局 清水克之

〒680-8553 鳥取県鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部生物資源環境学科

TEL&FAX 0857-31-5395

E-mail : jsidre-chushi@muses.tottori-u.ac.jp

(6) 宿泊案内

講演会事務局では、宿泊の斡旋・手配等はいたしませんので、宿泊案内は農業農村工学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) を参照して下さい。

平成 22 年度 九州支部 第 91 回講演会・ポスターセッション
第 33 回講習会・シンポジウム・現地見学会の開催について（第 2 報）

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 日 時

平成 22 年 10 月 19 日（火）

9：30～17：00：講演会・ポスターセッション

平成 22 年 10 月 20 日（水）

9：30～17：00：講習会・シンポジウム（午前）

現地見学会（午後）

2. 会場（講演会・ポスターセッション・講習会・シンポジウム）

ホテル熊本テルサ

〒862-0956 熊本市水前寺公園 28-51 ☎096-387-7777

※ホームページ <http://www.kumamoto-terrsa.com/>

※熊本駅から市電またはバス（熊本交通センター経由）で約40分

（最寄り電停：市立体育館前，最寄りバス停：県庁前もしくは熊本テルサ前）

3. プログラム

- (1) 10月19日（火）：講演会・ポスターセッション
- ① 9：00～9：30 受付
 - ② 9：30～10：00 開会式（テルサホール）
 - ③ 10：00～10：20 支部賞表彰式（テルサホール）
10：20～10：30（休憩）
 - ④ 10：30～17：00 講演会（第1～4会場予定）
第1会場 たい樹（北）（3F） 第2会場 たい樹（中）（3F）
第3会場 たい樹（南）（3F） 第4会場 ひばり（2F）
 - ⑤ 12：00～17：00 ポスターセッション 会場近隣展示スペース（3F）
- (2) 10月20日（水）：講習会
- 場所：第1会場 たい樹（北）（3F）
- ① 9：00～9：30 受付
 - ② 9：30～9：40 開会挨拶
 - ③ 9：40～10：30 農村環境の広域的な保全に向けた構想づくりガイドブックについて（仮）
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室
 - 10：30～10：40（休憩）
 - ④ 10：40～11：30 機能診断の手引き（開水路）について（仮）
農林水産省農村振興局整備部水資源課施設保安全管理室
 - ⑤ 11：30～11：40 閉会
- (3) 10月20日（水）：シンポジウム
- 場所：第2会場 たい樹（南）（3F）
時間：9：30～11：30
- 課題「九州・沖縄における土と水に関する諸問題」
- ① 「地すべりの発生とすべり面の強度（仮題）」
鹿児島大学大学院連合農学研究科 木村 匠
 - ② 「アスファルト表面遮水壁に用いるアスファルト混合物の低温下における応力の評価手法ならびに厚層舗設工法の合理化施工法に関する研究（仮題）」
九州大学大学院生物資源環境科学府 瀧上 学
 - ③ 「赤土流出対策導入に関する社会的合意形成（仮題）」
鹿児島大学大学院連合農学研究科 高根 博樹
総合司会 佐賀大学農学部准教授 原口 智和
- (4) 10月20日（水）：ポスターセッション表彰式
- 場所：第2会場 たい樹（南）（3F）
時間：11：30～11：40
- (5) 10月20日（水）：現地見学会

集合時間：12：50

集合場所：ホテル熊本テルサ（正面玄関前）

予定コース：（出発）ホテル熊本テルサ 13：00→13：45
県営畑地帯総合整備事業（吉次地区） 14：15→14：25
県営経営体育成基盤整備事業（南尾迫地区） 14：40→15：00
熊本城 16：00→16：10 熊本交通センター→16：20
熊本駅→17：00頃 ホテル熊本テルサ（解散）

（※参加人数が25名に満たない場合は、中止する場合がございますのでご了承下さい。）

4. 参加費用

	10月19日（火）		10月20日（水）		
	講演会等参加費用	昼食（弁当）	講習会等参加費用	現地見学会参加費用	昼食（弁当）
一般料金	4,000円	1,050円	4,000円	3,000円	1,050円
学生料金	2,000円	1,050円	2,000円	2,000円	1,050円

5. 講演会の講演申込

平成22年度の全体的な運営については熊本県が担当しますが、講演会等のプログラム編集は鹿児島大学が担当します。講演申し込み（原稿投稿先）は下記によりお申し込み下さい。

(1) 投稿締切 平成22年9月6日（月）

(2) 投稿先

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-24

鹿児島大学農学部 肥山浩樹 あて

TEL & FAX 099-285-8694（直通）

E-mail：hiyama@agri.kagoshima-u.ac.jp

(3) 投稿要領

講演希望者は、「講演原稿」と別紙「講演会投稿票」を投稿先（鹿児島大学農学部肥山）までお送り下さい。講演会投稿票には、演題・氏名・勤務先・所属等を記入の上、CD-R等またはメールにて投稿先までお送り下さい。

(4) 原稿の書き方

図・表・写真等を含めて、1題につき2ページまたは4ページとし、3ページや5ページ以上の原稿は受け付けません。原稿や投稿票の作成方法は（社）農業農村工学会ホームページに掲載（<http://www.jsidre.or.jp/newinfo/22shibu/>）されていますので、参照またはダウンロードして下さい。

(5) 講演方法

1題につき、質問・交代時間を含めて12～15分程度の発表とします。なお、講演の補助機材としてパソコン（OS：WindowsXP，ソフト：MS-PowerPoint 2003）とプロジェクターを事務局で用意しますが、OHPやスライドは準備しませんので、ご了承下さい。

6. ポスターセッションの申込

近年、九州支部講演会においては、学生会員の講演件数が増加しています。また、平成13年度からは、シンポジウムを支部講演会と同時に開催し、内容の充実を図っています。したがっ

て、1 課題当たりの講演時間を確保し、プログラムの編成を容易にするために口頭発表に加えてポスター発表を企画しております。このポスター発表は、研究の背景や成果および将来への展望などを発表者と参加者が1対1の差し向かいで討議できるという口頭発表では実現しがたい特徴を備えています。

本年度も、原則として学生会員（学部生・研究生・大学院修士）を対象に募集します。なお、ポスターセッションは、会場のスペースの関係で発表者の制限を設ける場合がありますのでご了解下さい。また、発表者の中からポスター賞を若干名授与します。

ポスター申込は講演会の講演申込に準じることとしますので、事前のポスター送付は不要です。投稿要領と原稿の書き方を参照の上、2 ページまたは4 ページにて締切日までに原稿を投稿下さい。なお、投稿票の6.発表使用機材欄には「ポスター」と記入して下さい。

- (1) 枚数 1 課題 A0 判 1 枚以内
- (2) 掲示

ポスターは、10月19日（火）12:00 までに本人の責任で所定の位置に掲示して下さい。当日は掲示用に2.1 m（縦）×1.8 m（幅）のパネルを設置する予定です。

7. 参加申込方法

- (1) 参加申込み

参加申込書により所属（大学）ごとに取りまとめ、メールおよびFAXで事務局へお申し込み下さい。講演およびポスターセッション希望者についても、申込みが必要です。

なお、参加申込書様式（MS-Excel形式）は下記アドレスからダウンロードして下さい。

アドレス：<http://www.jsidre.or.jp/newinfo/kyushushibu.htm>

- (2) 申込期限 平成22年9月3日（金）

なお、会場の都合により定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。

- (3) 参加費の納入

銀行振込か当日支払いとなります。どちらで納入するか、参加申込書へご記入願います。

銀行振込の場合には、申込みと同時に支払い願います。なお、振込後の参加費用等の返還には応じられませんので、御注意下さい。

・振込先

銀行名：肥後銀行 県庁支店（店番号159）

口座番号：普通 1591780

口座名称：農業農村工学会九州支部講演会運営事務局

会計 池部亘一郎

（ノウギョウノウソンコウガクカイキョウ

シュウシブコウエンカイウンエイジムキョク

カイケイ イケベコウイチロウ）

※手数料は振込者負担でお願いします。

また、振込者がわかるように、所属・氏名等は必ずご記入下さい。

- (4) 宿泊について

宿泊の斡旋・手配は行いませんので、ご了承下さい。

8. 参加申込先・問合わせ先

農業農村工学会九州支部講演会・講習会運営事務局

熊本県農林水産部農村計画・技術管理課技術管理室

担当：池部、後藤

〒862-8570 熊本市水前寺 6-18-1

☎096-333-2426 FAX 096-383-0367

E-mail：ikebe-k@pref.kumamoto.lg.jp（池部）

第31回農地保全研究部会研究集会の開催について（第2報）

テーマ「持続的農業のための農地保全」

主催：農地保全研究部会 後援：関東農政局、群馬県、水土里ネット群馬、嬭恋村

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 開催日

- (1) 研究集会 平成22年10月7日（木）
- (2) 現地研修会 平成22年10月8日（金）

岐阜大学 松本康夫

11:10~12:40 情勢報告1「農地防災事業について」

農林水産省農村振興局 佐藤具揮

2. 場所

- (1) 研究集会 群馬県市町村会館2階 大研修室
前橋市元総社町 335-8 027-290-1366
JR 新前橋駅*西口 徒歩5分

11:40~12:10 情勢報告2「嬭恋村の農地造成と保全」

嬭恋村村長 熊川 栄

- (2) 現地研修会 群馬県嬭恋村

12:10~13:30 昼食（昼食の用意は致しませんので、会館内および駅周辺の食堂をご利用下さい）

3. プログラム

- (1) 研究集会 平成22年10月7日（木）10:00~17:00
9:30~10:00 受付
10:00~10:10 部会長挨拶 東京農業大学 駒村正治
10:10~11:10 基調講演「傾斜畑の土壌保全」

13:30~14:15 講演1「畑作に強い関東ローム表層土壌の基本的物理性と固相構造」

三重大学 成岡 市

14:15~15:00 講演2「土壌侵食の広域推定および土砂流出対策」 農村工学研究所 塩野隆弘

- 15:00~15:15 休憩
 15:15~16:00 講演3「USLEに含まれない土の性質と
 土壌流亡」 東京大学 西村 拓
 16:00~16:50 総合討論 座長 琉球大学 吉永安俊
 16:50~17:00 閉会挨拶
 18:00~20:00 情報交換会 会場：前橋ホテル (JR前
 橋駅**北口徒歩5分 ☎027-220-1818)
- (2) 現地研修会 平成22年10月8日(金)9:00~16:30
 8:40~8:55 受付(集合場所はJR前橋駅**南口前)
 9:00 前橋駅発
 10:30~11:20 ハツ場ダム(ハツ場館)
 11:30~12:30 浅間酒造観光センター(昼食)
 13:00~15:30 孺恋農地造成(国営1期,2期,グリー
 ンベルト,愛妻の丘)

- 16:30 軽井沢駅(JR長野新幹線)着 解散
4. 参加費および申し込み
 (1) 研究集会 3,500円
 (2) 情報交換会 5,000円
 (3) 現地研修会 4,000円(昼食代1,000円含む)
 (4) 申込み・問合せ先
 農地保全研究部会事務局
 東京農業大学農地環境工学研究室
 藤川智紀(E-mail:t3fujika@nodai.ac.jp
 FAX03-5477-2620 ☎03-5477-2340)
 (5) 申込締切:平成22年9月22日(水)
 (6) 支払い方法:当日受付にて
 注:JR新前橋駅*とJR前橋駅**は異なります(両毛線で
 1駅)。

平成22年度農村道路研究部会研究集会・現地研修会の開催について(第1報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



農村道路研究部会では、以下のとおり第20回研究集会および現地研修会を開催しますので、ご案内いたします。

1. 期日 平成22年11月4日(木) 研究集会
 平成22年11月5日(金) 現地研修会
2. 研究集会
 1) 日時:11月4日(木)12:30~16:30
 (受付開始12:00)
 2) 会場:男女共同参画センター「あすなら」大会議室
 〒630-8122 奈良市三条本町8番1号
 再開第一ビル2階
 ☎0742-34-1525 FAX0742-33-6938
 3) 特定課題「農村道路の機能保全」
 ①招待論文:特定課題
 ②研究論文:特定課題および農村道路に関わる研究課題
 ③技術報文:農村道路に関わる計画・調査・施工の自由課題
 4) 会費:4,000円/人
3. 現地研修会
 1) 日時:11月5日(金)9:00~15:00(予定)
 2) 見学地:奈良県内の農道など
 3) 会費:3,000円/人(バス代)
4. 発表申込み
 1) 研究集会で発表するためには、原稿の提出と同時に発表申込みが必要になります。発表申込書および原稿作成要領は、以下のWEBページからダウンロードすることができます。
<http://www.nodai.ac.jp/eng/original/hyse/JSIDRE/AnnualMeeting.html>
 発表申込みは執筆者のみとなりますので、連名者で研究集会に参加される方は参加申込を別途行って下さい。

- 2) 原稿提出締切は10月8日(金)です。
5. 参加申込み
 1) 参加申込は、参加申込書を以下のWEBページからダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXもしくはE-mailにて行って下さい。
<http://www.nodai.ac.jp/eng/original/hyse/JSIDRE/AnnualMeeting.html>
 また、E-mailで申込される場合は、参加申込書をメールに添付し、表題として「農村道路研究部会研究集会の参加」と明記して下さい。
 2) 参加申込締切は10月22日(金)です。
 3) 参加費は、原則として参加申込と同時に以下の銀行口座に納金(振込み手数料は参加者でご負担)願います。やむを得ない理由がある場合には現地精算も可能ですので、参加申込の際に事務局までご連絡下さい。
 銀行名:ゆうちょ銀行 五二八支店(店番号528)
 口座番号:普通預金 0642789
 口座名:農業農村工学会農村道路研究部会
6. 原稿提出先および申込先
 鳥取大学農学部 緒方英彦
 〒680-8553 鳥取市湖山町南4-101
 TEL&FAX0857-31-5397
 E-mail:ogata@muses.tottori-u.ac.jp
7. 宿泊 各自で手配下さい。
 8. 問合せ先 申込先と同じです。
 9. その他
 詳細は学会誌次号に掲載予定です。
 また部会のWEBページにも随時掲載いたします。
<http://www.nodai.ac.jp/eng/original/hyse/JSIDRE/AnnualMeeting.html>